

12月定例会質問要旨（発言順）

○ 代表質問

信進クラブ 小林 紀之 議員

質問事項	1 市営野球場、または県営野球場の建設、誘致活動に対する考えは。
具体的な内容	1 市が土地を県に提供得することで、当地に県営野球場を誘致できないか。
答弁要旨	<p>(市長)</p> <p>1 押野山への野球場の誘致については、以前から県へ要望しているが財政的に厳しいとの回答である。 土地を地元で提供してもその後の地元負担もかなりある。 市民を交えた議論も必要であるが、今後も県に対して陳情、要望を出していきたい。</p> <p>(教育次長)</p> <p>1 2万人規模の施設立地は可能であり、事業費は概算40億円という試算が出されている。県も財政的に厳しいと判断している。 市営野球場については市民のコンセンサスが必要であるため、スポーツ振興計画の中で研究していきたい。 合併特例債の使用については計画の具現化、財政協議が必要である。</p>

○ 一般質問

松澤 好哲 議員

質問事項	<p>1 安曇野市の観光と農業とそば祭り・お船祭りについて</p> <p>2 給食センターと児童の状況、教育委員会の対応について</p>
具体的な内容	<p>1 そば祭り及びお船祭りの評価と今後</p> <p>2 ノロウィルス感染騒動に関して、衛生管理の状況と今後の対応について。また、学校との連携について。</p>
答弁要旨	<p>1 お船祭りについて（教育次長） 来場者からの評判も良く、身近にある地域の宝の再発見を通じた安曇野の文化遺産を活かした観光振興、地域活性化のすばらしい機会になったと評価している。 来年度も「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業補助金」を活用し継続開催していく。 また、わさび、そば、ニジマスなどの地元産業との連携についても研究していきたい。</p> <p>2 ノロ騒動について（教育長） 堀金及び中部において感染騒動が発生し、延べ4日にわたって給</p>

	<p>食を停止したことについては、最大限の感染拡大防止措置をとったということをご理解いただきたい。</p> <p>施設及び職員の衛生管理は厳しく指導しているが、今後は家庭においても家族を含めた感染予防を徹底していく。</p> <p>(教育次長)</p> <p>関係職員全員に自宅での予防のための消毒液を配布し、保健所に依頼して緊急の衛生講習会を開催した。</p> <p>また、学校に対しても衛生管理の徹底を通知するとともに、緊急の場合の報告等への連携強化をお願いした。</p> <p>給食調理従事者としての自覚が最も大切であるため、今後も衛生管理の徹底を図っていく。</p>
--	---

召田 義人 議員

質 問 事 項	1 スポーツ施設充実とまちづくりについて
具体的な内容	<p>1 市長のスポーツに対する思い、施設に対する考え方は</p> <p>2 スポーツ振興計画の進捗状況は</p> <p>3 施設の予約システムの現状</p> <p>4 野球場を核としたスポーツ公園構想について</p>
答 弁 要 旨	<p>(市長)</p> <p>1 スポーツは豊かな生活と文化の向上に役立ち、市民の関心やニーズは高まっている。</p> <p>市民のだれもがスポーツを通じた健康づくり、生きがいづくりができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツ振興計画を策定した。</p> <p>市の一体感醸成にもスポーツの果たす役割は大きいものがある。施設的にみるとそれぞれ旧町村の施設が持ち寄られたものであり十分とは言えない状況であるが、多くの市民に活用いただきたい。今後は多様化するニーズに応えた施設整備を進めていきたい。</p> <p>(教育次長)</p> <p>2 スポーツ振興計画は23年8月に市民に配布した。24年度スポーツ推進審議会での1年間の検証を行っていく。</p> <p>3 施設予約システムは豊科地域の体育施設のみで実施されている。現在他の地域についてのシステム化の研究をしているが課題もあるため、規則整備等と併せて研究していく。</p> <p>4 競技力の向上や多様化するニーズに対応する施設整備は大切である。</p>

<p>質 問 事 項</p>	<p>1 公益法人安曇野文化財団の基本財産（村田コレクション）の活用について 2 安曇野市の放射線測定と内部被ばく対策について</p>
<p>具体的な内容</p>	<p>1 村田コレクションについて ①今まで基本財産をどのように管理・活用並びに調査・研究をしてきたか。 ②これからの活用・調査の方向性と、再評価の手順、スケジュールについて。 ③出資法人あり方検討委員会から出された、再評価必要との求めに対する市の対応方針は。 2 学校給食用食材における放射線測定の現状と今後の考え方。</p>
<p>答 弁 要 旨</p>	<p>1 村田コレクションについて（教育長） 基本財産の管理は、適正に行われていると認識している。 （教育次長） ①管理は、警備委託、資料の薫条、カビ・害虫対策等であり、展覧会時には専門家による修復も行っている。 また、調査研究としては展示・展覧会に合わせた調査・研究、情報の収集を行っている。 活用としては、近代美術館での常設展示、庶民の家具展の開催、埼玉県「ものづくり大学」による調査研究がなされ、資料の保全に活かされている。 ②引き続き活用していくことが大切であり、信州の木工家具製作者等との連携を図った企画展を予定していきたい。 ③再評価については村田さん側からの「真に基本財産の有効活用を願う」という姿勢が大前提であり、これがなされれば市としても真摯に取り組んでいくことは可能と判断している。 日程的には近代美術館の改築等もあり、しばらく動けないと聞いている。 財団が定期的で開催する企画展に併せて市も協力しながら再評価を進めていくことが現実的。是非村田さんの協力をいただきたい。 2 給食用食材の放射線測定について （市長） 放射線問題については終息の目途がつかない状況であり、政府、東京電力の安全対策を期待している。 市においては、空間放射線、水道水、給食用食材等の測定を実施しているが、特に問題のある状況にはなく、結果についてはHPで公表している。 子どもへの内部被ばくについては国や県の測定結果等を各課で連</p>

	<p>携をとり保護者へ情報提供していきたい。</p> <p>尚、今後国が安全宣言をした場合であっても、回数等の縮小はあるが、長期的に一定規模の測定は実施していく必要があると考えており、危機管理上も市の責務と捉えている。</p> <p>(教育次長)</p> <p>平成23年11月から独自測定を開始し、24年4月からは県への測定依頼も開始した。</p> <p>学校給食では最大限に安全確保に努めていると認識しているが、各家庭における注意も必要である。</p> <p>子どもの健康は大人が守ってやらなければならないため、現行体制で引き続き測定を継続していく。</p> <p>また、教育委員会としては、関係部局との連携をはかり保護者等に対する放射線測定に係る講演会の開催等を計画していきたい。</p>
--	---

山田 高久 議員

<p>質問事項</p>	<p>1 教育行政の充実について(品格ある安曇野市の基盤づくりは教育にあり)</p> <p>2 行政執行のスピードアップについて</p>
<p>具体的な内容</p>	<p>1 教育行政の充実について</p> <p>①教育行政の最終責任者は誰にあるのか。</p> <p>②教育委員会不要論についての考えは。</p> <p>③教育次長の引き継ぎは適正に行われているか。</p> <p>④いじめ対策・教育委員会制度の見直しに対する市の対応は。</p> <p>⑤教育委員の職責と、報酬水準の適正について</p> <p>⑥「仰げば尊し」を歌う環境づくりについて</p> <p>2 行政執行のスピードアップについて</p> <p>①スポーツ振興計画の進捗状況について</p> <p>②合併特例債他の補助金の活用について</p> <p>③豊科総合体育館実施計画変更について</p> <p>④豊科近代美術館増築工事について</p>
<p>答弁要旨</p>	<p>1 教育行政の充実について</p> <p>(市長)</p> <p>少子化、核家族化、地域社会の変化等による子どもをめぐる環境の変化が著しい中で、学力や体力の向上、規範意識や社会への適応、いじめや不登校への対応等の課題を多く抱えている。</p> <p>また、教育現場では子どもひとりひとりへのきめ細やかな指導時間を確保する必要性が出てきている。市では教育環境づくりとして特別支援学級、少人数学習支援、中間教室指導員や不登校コーディネーターの配置、放課後学習室等学校を支援する体制の充実を推進</p>

してきた。

今後も学校の自主性・独立性を尊重しながら「生きる力」の育成に取り組んでいく。

(教育長)

①教育委員会は5人の教育委員による合議体であり、教育行政の責任者は教育委員全員である。

②市の教育委員会は、家庭と学校を支え地域における教育の責任を負うべき責務を全うしていると認識している。

③教育委員会の施策遂行に遅滞が生じないように、事務引き継ぎは適正に行われている。

④現在の制度の中できめ細やかな教育行政を推進していく。

⑤教育委員会は、その公平性、中立性を保持した中で地域の多様な意見を反映し、一体的に教育施策を推進している。委員の報酬については、特別職報酬審議会で決定している。

⑥「仰げば尊し」は教科書にも載っており、授業でも取り上げられているが、最近の卒業式では、未来への希望や決意を込めた歌を生徒が選曲する傾向にある。

2 行政執行のスピードアップについて

(教育次長)

①スポーツ振興計画は23年8月に市民に配布した。24年度スポーツ推進審議会での1年間の検証を行っていく。

②豊科県民運動広場については現在入札を行っており、特例債は用地買収と工事費に活用していく。

その他スポーツ振興くじ(TOTO)の申請を行う。スポーツ振興くじのソフト活用は、堀金の「スポネット常念」が活用している。

③実施計画は、必要性・効率性及び実現の可能性等から毎年見直しを行っており、住民生活に直結する施策を優先するよう配慮している。

④建築基準法改正の影響で着工が先送りとなり、また、施設の補強も必要となったため、まちづくり交付金の使用は1.6億円にとどめ他に利用した。

今回の工事は特例債を利用し、トイレ、照明、壁紙の張り替え等による近代美術館の改修及び機能補完を行うものである。

交付金・特例債ともに他の部署と協議し、より有効に活用することとしている。

また、施設名称については「安曇野市美術館」などが案として考えられており、工事竣工後の変更を予定している。

藤原 陽子 議員

質問事項	1 東日本大震災に学ぶ
具体的な内容	1 絆・「信濃の国」を歌い継ぐために
答弁要旨	<p>(教育長)</p> <p>小学校では、授業又は行事において学習や練習がなされている。また、中学校では地域の福祉施設訪問等の交流の場面で歌う機会があるため、練習をしている。</p> <p>学習指導要領においても郷土の伝統や文化の継承を図ることが示されており、これにより各校とも大事にしたい曲としてとらえている。</p> <p>現場では、授業時間等の関係から以前より歌う回数は減ってはいるが、地域を愛する思いを育む県歌であり、地理的要素も多く入っているため、長野県を知る良き題材として大切に歌い継ぎたいとの声が多く聞かれる。</p>

小松 芳樹 議員

質問事項	1 地域で支えあうまちづくり
具体的な内容	<p>1 子どもを守る・安心の家について</p> <p>①「安心の家」の把握について</p> <p>②標識の腐食や、やめられた家への標識への対応は</p> <p>③学校での指導は</p>
答弁要旨	<p>(教育次長)</p> <p>「安心の家」は各小学校のPTAからの推薦を受け、安曇野警察署が要件を確認し、認定を行っている。</p> <p>①安曇野署生活安全課からの名簿に基づき、学区ごとに把握している。(豊科 109、穂高 201、三郷 61、堀金 77、明科 50 箇所)</p> <p>②PTA から申請があれば、新しいプレートを配布するようにしている。</p> <p>③各学校で春又は秋に通学路街頭指導を行い、「安心の家」の場所を教えるなどの指導をしている。</p>